

9月の道徳(6年)

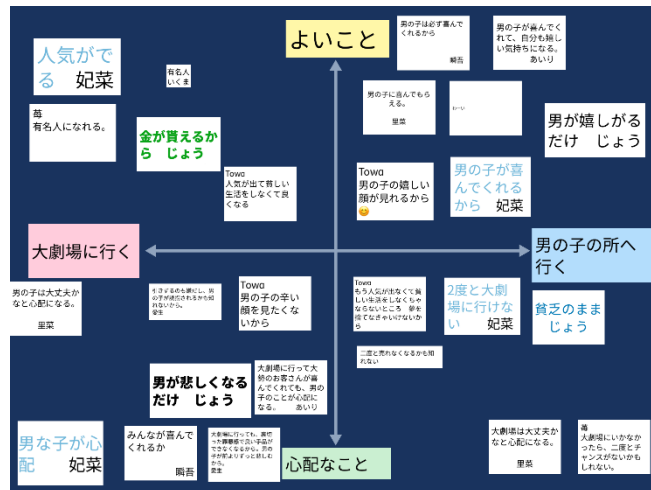
○教材名 手品師

○ねらい

手品師が男の子との約束を果たそうとした思いについて話し合うことをとおして、自分の良心に従って生きることの大切さに気付き、誠実に明るい心で生きようとする態度を育てる。

○学習したこと

教材を読み、自分が手品師だったら、大劇場へ行くのか、男の子との約束を守るのかを話し合いました。まず、座標軸思考ツールを用いて、それぞれのよいこと、心配なことをロイロノートへ書き出しました。どちらの立場も考えることで、手品師の葛藤する場面を多面的・多角的に考えることができました。授業の終わりには、自分なりの「誠実さ」について考えをまとめることができました。



9月の道徳(4年)

○教材名 「絵はがきと切手」

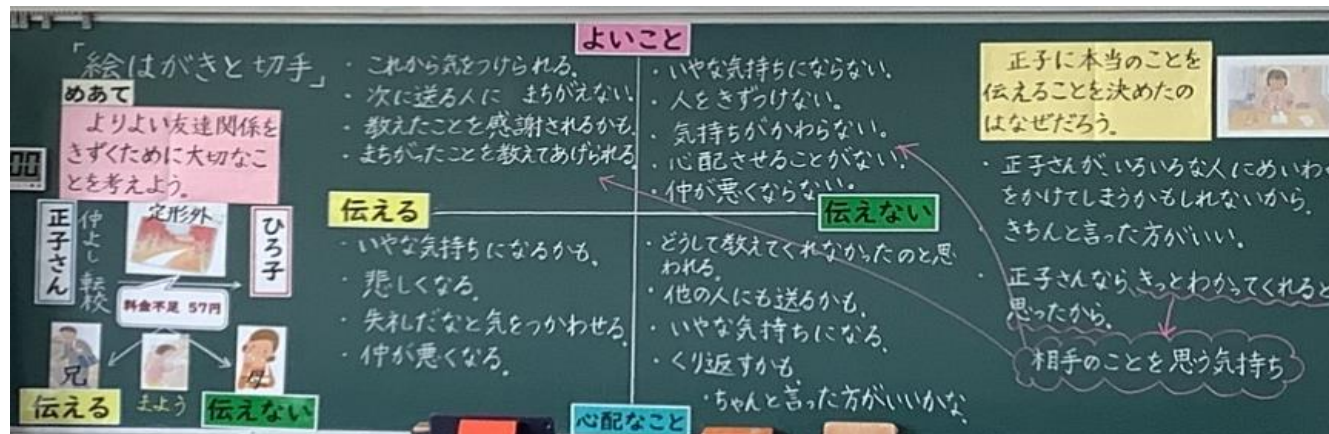
○ねらい

友達に対するひろ子の母と兄の考え方の違いについて話し合うことをとおして、友達とのよりよい関係のあり方に気付き、友達と信頼し、助け合おうとする心情を育てる。

○学習したこと

・まず、自分がひろ子だったら料金不足を伝えるか、伝えないかを考えて、心情メーターで表させた。また、料金不足を伝える場合と伝えない場合のよいことと心配なことを、座標軸ツールを使って書かせることで、自分の考えを明確にさせた。

・3～4人グループで意見を交流する中で、友達とよりよい人間関係を築くために大切なことについて、自分の考えと相手の考えを比較しながら、多面的・多角的に考えさせた。



9月の道徳(2年)

○教材名 「みぢかなしぜん」

○ねらい

身の回りの自然の大切さについて考え、植物を育てたり動物と接したりして、優しい心で自然と触れ合おうとする心情を育てる。

○学習したこと

・校庭や学年園に出かけ、どんな植物が生えているか、どんな虫がいるかを観察しに行く。また見つけた生物を図書室の図鑑やタブレットで詳しく調べた。

・「こどもの森」は緑を生かした公園で、自然の素材を生かした遊びをつくり出していることを知り、どんな町作りがよいか、話し合いながら考えた。



人が「しあわせだ」とどうやって「せんか」
なりまでも「きやく」とどうやって「せんか」多いと
人がすみにくくなってしまうので、これから「バラ
イス」がとれるように「きょうりく」したいであ

